

<全校授業研究会>

小学部4～6年音楽科 「音の重なりを楽しもう」 主教材『海』



音を重ねて演奏



生演奏での鑑賞



みんなで合わせてみよう!

協議題：音楽科で実態差のある学習集団における活動と支援について

グループ協議のまとめ

【効果的だった活動、支援】

- ・TTの連携がよくなり、メリハリができた。
- ・効果的にICTを活用していた。
- ・実態差があっても生演奏がよかった。

【ねらいと活動の焦点化】

- ・イメージがもてるめあての提示の工夫
- ・活動を焦点化するとよりねらいにせまれるのではないか。

【ベースになるメロディ、教材の工夫】

- ・ベースになるメロディがあることで音の重なりが分かるのでは。
- ・実態に合わせた教材、楽譜などの支援があるといいいのではないか。

【広い海のイメージを膨らませる手立ての工夫】

- ・海のイメージを膨らませる波の音、動画等の工夫

【学習集団の工夫とねらいに応じた活動】

- ・ねらいに応じたグループ・座席の設定
- ・グループ別に課題を設定して取り組んではどうか。

指導助言より (潟上市立天王中学校 教頭 小松 徹 先生) ◎成果 ☆課題

◎生演奏の効果

- ・ジャズアレンジした「海」のピアノ演奏で表現と鑑賞の領域を一度にやる題材構成が大事である。
- ・ジャズを聴いた後に「長い音」を意識するようになり、拍の流れを感じた。ジャズの音の重なりが、心を惹きつけた。

◎TTの連携

- ・TTの連携が効果的な指導につながった。
- ・全員飽きずに、集中して取り組んでいた。

◎伴奏や視覚的な提示

- ・伴奏や視覚的な提示が効果的に使われていた。
- ・子どもたちが十分に感じ取り、演奏できそうか、教師が実際に演奏し、楽曲分析する。やってみて改善案を出し合うといい。

☆音楽の要素を骨組みに

- ・コール&レスポンスから～音色、強弱、反復の要素を授業づくりで意識することで授業が変わる。
- ・音楽を形づくる要素を感じ取る＝「聴き取る」、「面白さ、美しさ」や「雰囲気、イメージ、特質」を感じる＝「感じ取る」。音楽を形づくる要素が骨組みになる。

☆長い音のイメージを統一

- ・表現でも鑑賞でも最初にやることは、聴く、感じる、工夫する、表現する。本時の表現では、全員が長い音をイメージできて合奏になるので、イメージを統一する必要がある。

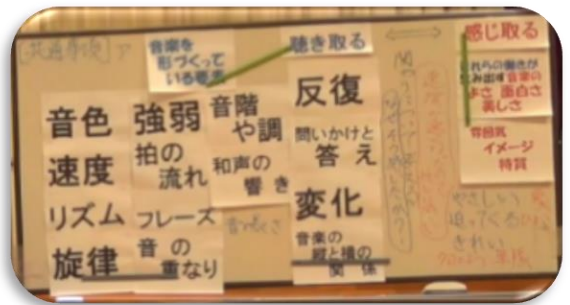
☆児童生徒の学びをつなぐ教育課程の編成

- ・縦割りのワーキンググループで、めざすゴール、指導要領に沿った授業づくりなどのつながりを確認していく。
- ・低学年の年間指導計画は、表現領域同士、表現領域と鑑賞領域をつなぐことで、改善につなげてほしい。

○今後の音楽科WGの研究に向けて
 <小松教頭先生の指導助言より>



◎「共通事項ア」を意識した授業作りが大切です！
 「音楽科における見方、考え方」はほぼ「共通事項ア」。これを意識することで、「主体的・対話的な深い学び」につながる。



共通事項を仲立ちとして表現と鑑賞を有機的な関連を図った例

★年間指導計画が適当か？

- ・現在の年間指導計画・・題材に関連する歌を羅列している。帯単元の連続で色々な活動を時間毎に区切って行う計画になっている。
- 特別支援学校にありがちなもの。



・通常の小学校低学年の年間指導計画を参考に！
 →大切なのは音楽を形作っている要素を仲立ちに表現領域同士、あるいは表現領域と鑑賞領域を有機的につなぐ題材計画の作成です！

※小学校第3学年の年間学習指導計画の例より

学年	教科	単元名	単元の目標	学習目標
4	4		①「体験力、判断力、表現力等」の育成 ②「学習意欲、学習態度、学習習慣」の育成	
4	4	1. 音楽で必ずつなげよう	①歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの運び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 ②歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの運び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。	友だちへの思いをこめて歌いましょう。
5	6	2. 歌って音の高さをがんとしよう	(1)旋律や音階の高低を聞き取り、ハ長調の調性を見出し、音階や調性の仕方に気をつけて歌ったりリズムをたたくことができるようにする。 (2)ハ長調の調性を見出し、音階や調性の仕方に気をつけて歌ったりリズムをたたくことができるようにする。	音の高さに気をつけながら、歌ったりひたたりリズムをたたくことができるようにしよう。

<題材の目標の書き方>

・学習指導要領に示されている育成を目指す資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等）の3つの柱の視点に基づき作成。

<学習指導要領の内容との関連>

- ・題材の目標が学習指導要領に示される内容のどの項目と関連しているかを明確に記載。
- ・各題材の中で「共通事項」を要として教材同士がつながり、往還しながら指導されるように配慮する。

学習指導要領の内容		A表現				B鑑賞				C共通事項			
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等
イ	ウ	イ	ウ	イ	ウ	イ	ウ	イ	ウ	イ	ウ	イ	ウ
(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

引用元：「令和2年度用小学校音楽 年間学習指導要領作成資料」株式会社 教育芸術社より

<音楽科WG・今後の予定>

(小学部)
 ○年間指導計画（後期分）の検討
 ～学習指導要領の内容との関連を図った指導計画の作成
 6年間を見越した学習内容の整理、指導体制の検討

(中学部)
 ○学習指導要領に沿った授業作り（音楽科WG 授業研究会に向けて）
 ～共通事項「ア」を意識した指導計画の作成
 （表現と鑑賞を関連させた題材構成）

(高等部)
 ○音楽とのつながりを図った授業の検証
 ～授業を見合う会の実施（高1、小1、道川分教室の事例を中心に）

